

白井市地域防災計画（令和6年度修正）の概要

白井市地域防災計画は、災害対策基本法第42条の規定に基づき、白井市防災会議が定める計画で、市民の生命、身体及び財産を白井市の地域に係る災害から保護することを目的とし、災害予防、災害応急対策、災害復旧対策等の一連の防災活動について定めたものです。

今回の修正に当たり、令和6年7月に「令和6年度白井市地域防災計画修正に係る基本方針」を定め、この方針に基づき、白井市地域防災計画の修正を行いました。

1 主な修正内容

（１）職員配備基準及び災害応急活動体制の修正

令和5年8月に見直しを行った市の職員配備基準及び災害応急活動体制及び令和6年度の市の組織改編（未来創造戦略室、人事課の新設等）に伴い修正するもの。

（２）国・県計画の修正内容の反映

能登半島地震を踏まえ、令和6年6月の国の防災基本計画修正及び令和7年2月の千葉県地域防災計画修正に伴い、未反映であった県地域防災計画（令和5年度修正）の内容と併せて修正内容の反映を行うもの。

（３）その他の修正

県と市の地域防災計画を対照し確認出来るよう、記載順の変更及び節名称・記載内容等の修正を行うもの。

2 市計画と県計画の想定地震及び被害想定との差異について

現在、市計画と県計画で想定地震及び想定被害が以下のとおり異なっている状況です。

	想定地震	被害想定
千葉県 （平成26・27年度 千葉県地震被害想定調査報告書）	北西部直下地震 マグニチュード7.3 震源の深さ50km 千葉県北西部の千葉市、習志野市、船橋市、市川市などを中心に震度6強の地域が広がり、震度6弱以上の地域は県土の約40%、震度7の地域はない。 （白井市全域震度6弱、一部震度6強）	死者：約10人 重傷者：約30人 軽傷者：約230人 避難者（1日後）：約2,000人 避難者（1週間後）：約7,900人 全壊・焼失・半壊棟数計：約2,020棟
白井市 （令和2年度 白井市防災アセスメント調査）	白井市直下地震 マグニチュード7.1 震源の深さ5km 市の平均震度は6.0で、市全域で6弱～6強になると予測される	死者：32人 重傷者：39人 負傷者：276人 避難者（1日後）：2,011人 避難者（1週間後）：10,177人 全半壊棟数：2,139棟

現状、市計画が県計画の被害想定を概ね上回っている状況であり、市の災害への備えとして十分な対応となることから、市の災害活動体制に関わる部分の修正を優先し、被害想定については、今後の千葉県の防災アセスメント調査の実施を待ち、その結果に合わせて見直しを行うこととします。